

松本市立博物館開館記念 第2弾特別展

至極の大衆文化 浮世絵 ー酒井コレクションー

会期:令和6年1月13日(土)~3月3日(日)【前期】令和6年1月13日(土)~2月4日(日)【後期】2月10日(土)~3月3日(日)

会場:松本市立博物館2階特別展示室 主催:松本市立博物館 特別協力:日本浮世絵博物館

【前期展示資料一覧】

No.	絵師名	作品名	制作年代	判型	所蔵	備考
<b>第1章 浮世絵の名品</b>						
1	喜多川歌麿	福祿寿三星図	寛政(1789~1800)中期	絹本着色	日本浮世絵博物館	
2	歌川豊春	三味線持つ美人図	天明~寛政期(1781~1800)	絹本着色	日本浮世絵博物館	
3	酔夢亭蕉鹿	遊女と寿老人	寛政~文化期(1789~1817)	絹本着色	日本浮世絵博物館	
4	勝川春好	八朔図	寛政~文化9年(1789~1812)	絹本着色	日本浮世絵博物館	
5	懐月堂度秀	遊女立姿図	享保期(1716~35)	紙本着色	日本浮世絵博物館	
6	魚屋北溪	鯛と蟹図	文化~文政期(1804~29)頃	紙本着色	日本浮世絵博物館	
<b>第2章 浮世絵が大衆文化になったきっかけは?</b>						
1	奥村政信	七夕のと渡る舟	享保元年(1716)頃		日本浮世絵博物館	パネル
2	無款(杉村治兵衛)	玉取り	貞享~元禄(1684~1703)頃		日本浮世絵博物館	パネル
3	鳥居清倍	枕もんどう	正徳5~享保2年(1715~17)頃		日本浮世絵博物館	パネル
4	石川豊信	髪すき 初代佐野川市松 初代中村糸太郎	寛延3年(1750)頃		日本浮世絵博物館	パネル
5	歌川国安	金草鞋	文政13年(1830)		松本市時計博物館	
6	歌川国貞	修紫田舎源氏	天保4年(1833)		松本市時計博物館	
<b>第3章 江戸の風俗</b>						
1	歌川広重	東都名所高輪廿六夜待遊興之図	天保(1830~43)後期	大判錦絵3枚続	日本浮世絵博物館	
2	溪斎英泉	あは餅	文政(1818~29)中期頃	間判錦絵	日本浮世絵博物館	
3	歌川国貞(三代豊国)	時雨の松茸狩遊	弘化4~嘉永5年(1847~52)	大判錦絵3枚続	日本浮世絵博物館	
4	歌川国貞(三代豊国)	下屋敷の筍つみ	天保14~弘化2年(1843~45)	大判錦絵3枚続	日本浮世絵博物館	
5	歌川広重	江戸高名会亭尽 山谷 八百善	天保6~13年(1835~42)頃	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
6	菊川英山	潮干狩	文政(1818~29)前期頃	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
7	歌川国芳	貞操千代の鑑 仁	天保14~弘化4年(1843~47)	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
<b>第4章 ファッション</b>						
1	歌川国貞	奉納(手拭) 鶴屋内かしく	文化12年(1815)頃	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
2	溪斎英泉	浮世美人十二箇月 三月 廓の花	天保期(1830~43)	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
3	溪斎英泉	廓中八景 岡本屋内菅之助	文政8年(1825)頃	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
4	歌川国貞	本朝風景美人競 武蔵隅田川	天保期(1830~43)	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
5	歌川国芳	清月の月	天保(1830~43)中期	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
6	歌川国安	傾城見立八景 和八景 三保松原 姿海老屋内な鳥	文政期(1818~29)	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
<b>第5章 さまざまな生き物</b>						
1	歌川国芳	日本駄右エ門猫之故事	弘化4年(1847)	大判錦絵3枚続	日本浮世絵博物館	
2	歌川国芳	流行猫の曲鞠	天保12年(1841)	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
3	歌川国芳	菊川国丸の曲鞠	天保12年(1841)	長大判錦絵	日本浮世絵博物館	
4	歌川国芳	狐の嫁入図	天保13年(1842)頃	大判錦絵3枚続	日本浮世絵博物館	
5	歌川芳艶	猫ねつみどうけかつせん	天保14~弘化4年(1843~47)	大判錦絵3枚続	日本浮世絵博物館	
6	歌川国芳	道外十二支 子 丑	安政2年(1855)	中判錦絵二丁掛	日本浮世絵博物館	
7	歌川国芳	道外十二支 申 酉	安政2年(1855)	中判錦絵二丁掛	日本浮世絵博物館	
8	歌川国芳	道外十二支 戌 亥	安政2年(1855)	中判錦絵二丁掛	日本浮世絵博物館	
<b>第6章 浮世絵で遊ぶ</b>						
1	歌川広重	即興かけぼしづくし ふじの山 らんかんぎぼし	天保期(1830~43)	中判錦絵二丁掛	日本浮世絵博物館	
2	歌川広重	即興図尽し 入ふね 茶わんちや台	天保期(1830~43)	中判錦絵二丁掛	日本浮世絵博物館	
3	歌川広重	即興蔭ぼし尽し 石燈籠 鷹にとまり木	天保期(1830~43)	中判錦絵二丁掛	日本浮世絵博物館	
4	歌川広重	即興かけぼしづくし 塩引さけの魚 茶がま	天保期(1830~43)	中判錦絵二丁掛	日本浮世絵博物館	
5	未詳	仮名手本忠臣蔵 十一段続 幕なし大じかけ	文化13年(1816)頃	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
6	藤よし	龍宮飾立燈籠	慶応元年(1865)頃	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
7	歌川豊久	和田合戦とうろふ	文化12~14年(1815~17)頃	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
8	歌川芳宗	子供遊	安政3年(1856)	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
9	歌川国芳	みかけはこはるがとんだいゝ人だ	弘化4年(1847)頃	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
10	歌川国芳	人かたまつて人になる	弘化4年(1847)頃	大判錦絵	日本浮世絵博物館	

11	歌川芳藤	五拾三次之内猫之怪	弘化4～嘉永5年(1847～52)頃	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
<b>第7章 浮世絵の衰退から芸術へ</b>						
1		渡邊庄三郎写真	昭和16年(1941)		株式会社 渡邊木版美術画舗	パネル
2		笠松紫浪写真	昭和16年(1941)		株式会社 渡邊木版美術画舗	パネル
3	笠松紫浪	信州松本城	昭和9年(1934)	木版多色摺	松本市立博物館	
4	笠松紫浪	信州白骨温泉	昭和10年(1935年)	木版多色摺	松本市立博物館	
<b>コラム 浮世絵に描かれた日用品</b>						
1	溪斎英泉	今様縁日詣 一ツ目弁財天	天保期(1830～44)		日本浮世絵博物館	パネル
2	歌川国貞	当世美人合 かこみ	文政末～天保初期(1827～32)頃		日本浮世絵博物館	パネル
3	溪斎英泉	曲中八契 扇屋内鳩照	文政8年(1825)頃		日本浮世絵博物館	パネル
4	溪斎英泉	芙蓉と美人図	弘化(1844～47)初期頃		日本浮世絵博物館	パネル
5		行燈(丸行燈)	不明		松本市立博物館	
6		笄	江戸時代		松本市立博物館	
7		簪	江戸時代		松本市立博物館	
8		櫛	不明		松本市立博物館	
9		鏡立	不明		松本市立博物館	
10		柄鏡	江戸時代		松本市立博物館	
11		煙管	不明		松本市立博物館	
12		懐紙	不明		松本市立博物館	
13		三徳	不明		松本市立博物館	
<b>コラム 松本屈指の豪商 酒井家</b>						
1		信州筑摩郡松本本町浄土宗門改帳	文政11年(1828)		松本市立博物館	
2		光慈入部宿割控	享保11年(1726)		松本市立博物館	
<b>コラム 浮世絵の至極の技術</b>						
1	歌川国貞(三代豊国)	今様見立士農工商 職人	安政4年(1857)		日本浮世絵博物館	パネル
2	歌川国貞(三代豊国)	今様見立士農工商 商人	安政4年(1857)		日本浮世絵博物館	パネル
3		小刀	不明		日本浮世絵博物館	
4		鑿	現代		松本市立博物館	
5		木槌	現代		松本市立博物館	
6		版木	不明		日本浮世絵博物館	
7		刷毛	不明		日本浮世絵博物館	
8		馬連	不明		日本浮世絵博物館	
<b>コラム すごい技術の浮世絵木版画</b>						
1	歌川国貞(三代豊国)	揚巻の助六 市川団十郎三升	万延元年(1860)	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
2	歌川国貞(三代豊国)	豊国漫画図会 自来也	安政6年(1859)	大判錦絵	日本浮世絵博物館	
3	溪斎英泉	今様美女競 辰巳	文政8年(1825)頃	大判錦絵	日本浮世絵博物館	